

寶塔偈「此經難持」

【真読】

しきようなんじ 此經難持	にやくざんじしゃ 若暫持者	がそくかんぎ 我即歡喜	しょぶつやくねん 諸仏亦然	にょぜしにん 如是之人
しょぶつしょたん 諸仏所歎	ぜそくゆうみょう 是則勇猛	ぜそくしょうじん 是則精進	ぜみょうじかい 是名持戒	ぎょううずだしゃ 行頭陀者
そくいしつとく 則為疾得	むじょうぶつどう 無上仏道	のうおらいせ 能於來世	どくじしきょう 讀持此經	ぜしんぶつし 是真仏子
じゅうじゅんぜんじ 住淳善地	ぶつめつどご 仏滅度後	のうげごぎ 能解其義	ぜしょてんにん 是諸天人	せけんしげん 世間之眼
おくいせ 於恐畏世	のうしゅゆうせつ 能須臾說	いっさいてんにん 一切天人	かいおうくよう 皆應供養	

【訓讀】

この経はたもちがたし 若し暫くもたもつ者は 我
 即ち歡喜す 諸仏も亦然なり かくの如き人は 諸
 仏の歎め給う所なり これ則ち勇猛なり これ則ち
 精進なり これを戒をたもち 頭陀を行づる者とな
 づく即ちこれ疾く 無上の仏道を得たり 能く來世
 に於いて 此の経を読みたもたんは これ眞の仏子
 淳善の地に住するなり 仏の滅度の後に 能く其の
 義を解せんは これ諸々の天人 世間の眼なり 恐
 畏の世に於いて 能く須臾も説かんは 一切の天人
 皆供養すべし